

2024年度

県民のための医療セミナー

(埼玉県立小児医療センター・With You さいたま共催事業)



小児てんかんセンター開設記念 第35回てんかん教室

～未来を見すえた 小児てんかん医療を求めて～



開催趣旨（開催メッセージ）

てんかんは100人に1人の割合で起こる疾患です。てんかんの治療目標として、てんかん発作を減らすこと、発作時に適切な対応ができるようになることが挙げられます。また基礎疾患に応じた治療の目標設定も重要になります。小児においては小学生の高学年から自己管理ができるようになること、将来のライフイベントを見すえた知識の整理が必要となります。てんかん教室は皆様にてんかんという病気の理解、てんかん患者に対する正しい対応の理解が得られることを目的としています。今回、6つのテーマに分けて、当センターの医師、看護師、公認心理師がわかりやすく解説をしていきます。

開催日時 令和6年 **11月9日(土)** 13:00～16:45 (受付開始 12:30～)

場所 With You さいたま 4階セミナー室
(会場参加のみ)
さいたま市中央区新都心 2-2
ホテルブリランテ武蔵野 4階

対象者

- ・中学生以上に限ります（一人での参加も可）。
- ・小学生以下は保護者同伴でも参加できません。
- ・生後6か月～小学校3年生は保育が利用できます（要予約）。
- ・ひと家族3名まで参加できます。

定員・保育 150名
保育を利用される方は保育の予約もお願いします。

保育について

生後6か月から小学校3年生までのお子様をお預かりします。

保育料：お子様一人につき300円

お子様の名前（ふりがな）、年齢（月齢）、アレルギーの有無・種類やその他配慮すべき事項等をお知らせください。



参加費 無料

申込み・問合せ 埼玉県立小児医療センター

申込み方法 ▶

電子
申請



2024年度県民のための
医療セミナー参加
申込みページ

申込み期間 ▶ 令和6年8月20日(火)
～10月31日(木)
定員になり次第締め切り

問合せ先 ▶ 埼玉県立小児医療センター
地域連携・相談支援センター

TEL 048-601-2200（代表）

共催事業



地方独立行政法人
埼玉県立病院機構

埼玉県立小児医療センター・With You さいたま

小児てんかんセンター開設記念 第35回てんかん教室 ～未来を見すえた小児てんかん医療を求めて～

司会 埼玉県立小児医療センター 神経科 医長
松浦 隆樹

12:30 受付・開場

13:00 開会、オリエンテーション

13:10～13:35 講義 1

わたしのてんかん、みんなのてんかん

埼玉県立小児医療センター 神経科 副病院長
浜野晋一郎

ここ数年間にサッカー選手、ラグビー選手、関取、そしてアイドルがてんかんであることを公表し、てんかんの理解が進みつつあります。でも、皆さんの知っているてんかんとは大きな差があるかもしれません。各演者の講義ではてんかんの詳しい話になるので、最初に話す私の講義ではその導入として多様性に富んだてんかんの全体像をお話します。

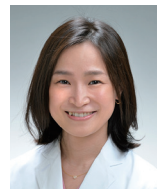


13:40～14:10 講義 2

てんかんの診断から治療まで

埼玉県立小児医療センター 神経科 医長
平田 佑子

てんかんの診断に重要な情報は発作症状です。治療は発作症状の型に加え、原因と脳波等の検査所見、さらにはお子さんの状態を考え選択します。診断から治療までの中で観察していただきたいポイントをお話します。



14:15～14:40 講義 3

発作時の対応と家庭・集団生活での配慮

埼玉県立小児医療センター 小児看護専門看護師
安田 有希

発作を目の当たりにすると驚いて動揺するものです。また、その時に対応できるか不安を抱えている方も多いと思います。発作時の基本的な対応とお子さんが安心して生活を送るための配慮についてお話いたします。



15:00～15:25 講義 4

こどものてんかんと発達障害 ～自分とつきあっていくこと～

埼玉県立小児医療センター 保健発達部 公認心理師
成田 有里

皆さまにとって関心が高い、こどものてんかんと発達障害との関連や、支援の考え方についてお話します。てんかんや併存症があっても、その子らしく生きていくヒントになれば幸いです。

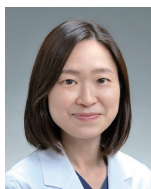


15:30～15:55 講義 5

難治性てんかん、発達障害をもつてんかん児の薬剤選択

埼玉県立小児医療センター 保健発達部 医長
小一原玲子

多剤の薬剤が必要な方、身体的、精神的併存症をもつ方は多くいらっしゃいます。発作に合う薬を選ぶことは大切ですが、併存症の悪化がないように QOL を意識した薬剤調整をすることも重要です。副作用を含めて説明いたします。



16:00～16:30 講義 6

成人移行の準備と留意点

埼玉県立小児医療センター神経科 科長
菊池健二郎

小児期発症てんかんでは成人期に達しても治療継続が必要となることがあります。将来のライフイベント（妊娠・出産、運転免許、就労）を見据えた治療、福祉サービス、成人移行における留意点について概説いたします。



10 分程度 質問タイム

16:45 閉会

感染防止
対策の
お願い

皆様が安心してご参加いただけるよう以下の項目をご確認の上、ご来場ください。

- 発熱、咳等の症状がある方は参加をご遠慮ください。
- 入館時の検温、健康チェックにご協力ください。